

令和8年 1月発行
中濃県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当:塚原
〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2
TEL: 0575-33-4011 (内線210)



かてきょー

郡上市 幼児教育センター やまびこ園

親子で五平餅作り

～郡上の地味噌を使ったふるさとの味～

郡上市幼児教育センターやまびこ園では、11月14日(金)に、「親子で五平餅作り」を開催されましたのでご紹介します。



【開催の目的】

地域の伝統食材である郡上の地味噌を使って、親子や親同士が楽しく交流しながら食の大切さを感じることができるよう企画しました。

【当日の様子】



講師は、「郡上食育応援隊」の皆さんです。五平餅を短時間で作れるように、ポリ袋の中にご飯を入れてつぶしてから形成する方法を教えてください、親子で協力して作りました。



「美味しい!」「郡上の地味噌だれはやっぱり美味しいね!」など親子や親同士の会話が聞かれました。

当日は、郡上食育応援隊とPTA役員の皆さんによる食の大切さを伝える劇も行われ、「赤、黄、白、緑を全部食べると、すごく元気になれるね!」「バランス良く食べることの大切さを親子一緒に学べて良かったです」などの感想がありました。

【取材を終えて】

昨年度は親子で地味噌作り体験を、今年度は地味噌を使って五平餅作り体験を開催されました。今後も、地域を大切に活動を通して、親子の絆や親同士のコミュニケーションを深めていただきたいと思います。

美濃市立美濃中学校 乳幼児ふれあい体験

～「母さん、ありがとう」心の底からあふれる思い～

美濃市立美濃中学校では、11月25日(火)と26日(水)の2日間、「乳幼児ふれあい体験」を開催されましたのでご紹介します。

【開催の目的】

地域の中学3年生が、乳幼児とのふれあいや子育て中のお母さんとの交流を通して自他の命の尊さを学ぶため、地域の主任児童委員と連携して企画しました。

【当日の様子】



生徒たちからの「赤ちゃんが産まれた日のことを教えてください」「育児で大変なことは何ですか？」の質問に、お母さんたちは「大変なこともあるけど、それ以上に毎日幸せだよ」「赤ちゃんがだんだんと成長する姿に喜びを感じるよ」「みんなもこんなふうに大事にされて大きくなったのよ」などと、優しく話されました。



【生徒の感想】

「僕は正直小さい子どもはうるさいし、何考えとるか分かって好きじゃなかった。でも今日、抱っこして遊んでめっちゃ可愛いと思えたし、お母さんって大変なんやな～と分かったので、今は無理やけど、いつか自分の親にお礼を伝えたいなと思いました」

「私が抱っこして泣いてしまっても、お母さんだとすぐに笑顔になるので、お母さんの安心感ってすごいなと思いました」

【乳幼児の保護者の感想】

「わが子がいろんな中学生に抱っこしてもらえて、とても幸せでした！」

「自分は親になって初めて自分の親に感謝することができました。この中学生たちにも、いつかこんな気持ちを味わってほしいなと思いました」

【取材を終えて】

乳幼児と接する生徒たちの柔らかな表情が印象的な体験会となりました。美濃市での初めての開催となった体験会には、市や社会福祉協議会などからも多くの参観者がありました。

今後も、生徒たちや子育て中の保護者のためにも、このような機会が設けられていくことを期待しています。



関市立倉知小学校 防災実践講座

～防災や減災について親子でできることを考えよう～

関市立倉知小学校では、11月20日(木)の参観日に、6年生親子を対象とした「防災実践講座」を開催されましたのでご紹介します。

【開催の目的】

家庭における防災力の向上を図るため、親子で体験し、考えてもらえるように企画しました。



【当日の様子】

関市危機管理課が簡易トイレについて説明



講師は、防災士、関市危機管理課、倉知ふれあいまちづくり協議会の方々が務められました。

当日は、体育館1階の防災備蓄倉庫内の備蓄物資を確認し、体育館で簡易トイレの組み立て方や使用法を学びました。



【児童の感想】

「避難所ではいろいろな苦労があることがわかった。そのためにも家庭で、災害後の生活に必要な備蓄品を用意しておくことが大切だと思いました。家族と相談して用意したいです」

【保護者の感想】

「今日の体験から、避難の時に何が必要なのか、わが家はどこに避難するかななどを、早速家族で話し合いたいと思いました」



【取材を終えて】

災害時における避難所での生活を親子で体験し、当日は地域の方々も参加されました。

今後も、各家庭、学校、地域での防災対策や非常時の訓練などの取組が重要だとあらためて実感しました。

美濃市役所 ストレス軽減とコミュニケーション ～職場内家庭教育研修～

美濃市役所では、11月18日(火)と19日(水)の2日間、職員を対象とした家庭教育研修を開催されましたので紹介します。

【開催の目的】

全ての職員がやりがいをもって活躍できる職場環境づくりを目指して、企画しました。



【当日の様子】

＜研修名＞
「ストレス軽減とコミュニケーション」
～安心を育てるスイッチの入れ方～

＜研修内容＞

- 1 ストレスと自律神経の働き
- 2 ポリヴェーガル理論に基づいた自律神経の3色
- 3 「緑」(安心とつながり)のスイッチの育て方
- 4 不登校の子どもたちの心の中
- 5 市民サービスへの応用
- 6 シャンパンタワーの法則より



講師は中濃県事務所の家庭教育推進専門職が務めました

【参加者の感想】

- ・職場の誰もが気持ちよく働ける環境をつくる上で、大切なことを学ぶことができました。心と身体の健康を改めて考えるきっかけになり、自分や周りの人をもっと大切にしていきたいという気持ちになれました。(20代女性)
- ・心が健康でないと、楽しく生活(仕事)をすることができません。自分はストレスとの付き合い方で悩んでいたので、今日は自分を客観的に振り返る貴重な機会になりました。(40代男性)
- ・悩みを「話す」ということは、悩みを「放す」ことにつながるのですね。友だちとランチした後の帰り道、心がスッキリしているのはこういうことだったのだなあと納得しました。(40代女性)
- ・不登校の子どもたちの状態について、「アクセルとブレーキを同時に踏んでいる状態」という表現がわかりやすく、フリーズ状態から回復するには時間がかかることも理解できました。(50代男性)

【取材を終えて】

家庭教育に関する研修会は毎年開催されており、今年は合計181名の職員が受講されました。

職員の皆さんには、今後の自身のワークライフに役立てていただきたいと思います。

